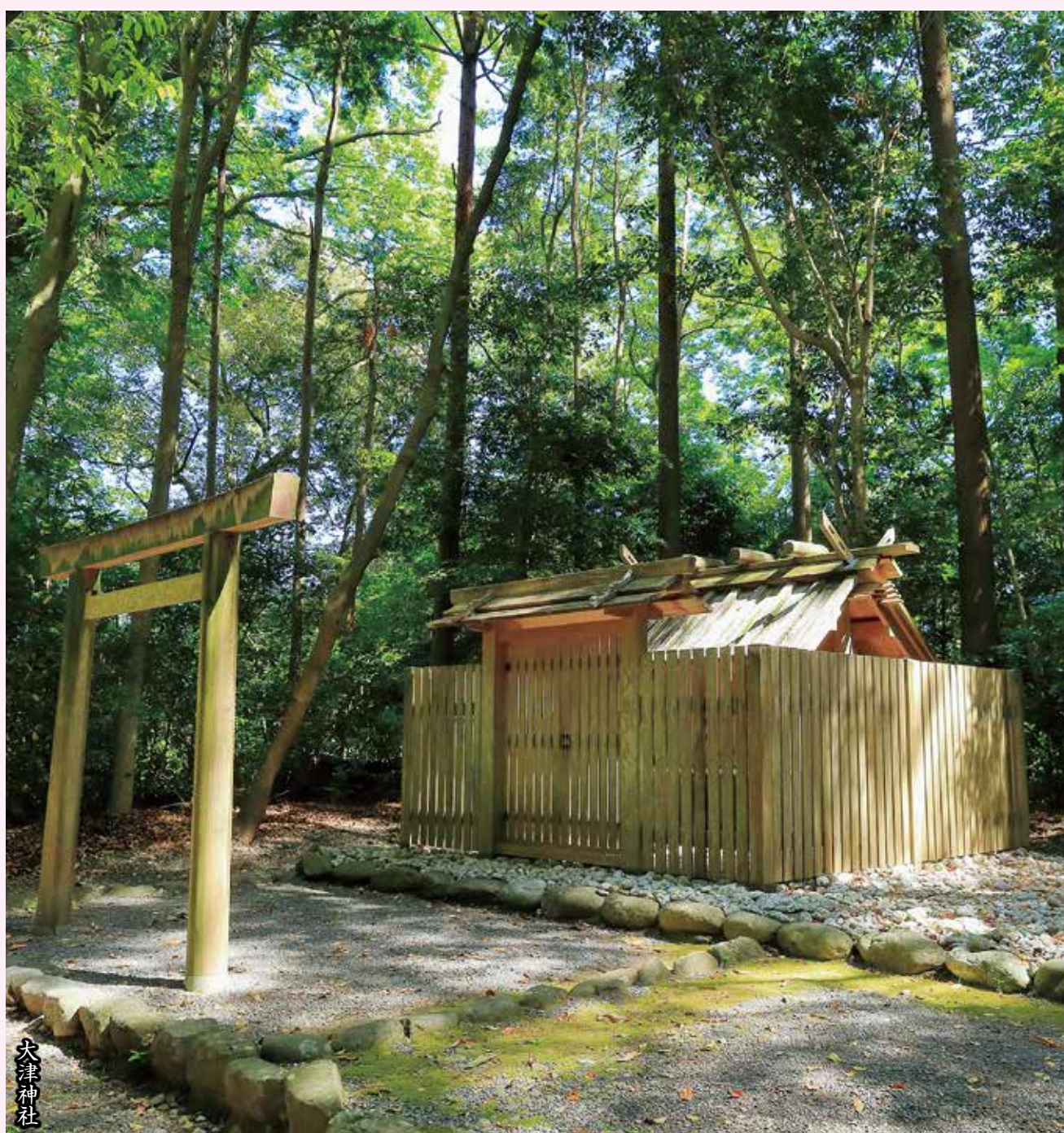


法友 For You

2020. 1 No.55

【発行】(公社)伊勢法人会 女性部会広報委員会
〒516-0037 三重県伊勢市岩渕1丁目7-17
伊勢商工会議所5階
TEL 0596-28-5665 FAX 0596-24-8315



大津神社

「令和」と共に新たな決意でスタート



部会長
伊藤 由美子

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、「令和」という新しい時代の幕開けとなり、大変感慨深い年でした。即位の礼と大嘗祭が無事に終わったことを天照大神に奉告されるため、「親調の儀」に臨まれる、天皇皇后両陛下を伊勢の地でお迎えすることができ、私たちの住む伊勢は、本当に有り難い土地だということを改めて実感しました。

一方で、大変大きな災害が日本列島を襲った年でもありました。多くの方が心を痛め、ボランティアや義援金などの協力の輪が広がったことに胸を打たれました。しかし同時に災害の救助や、避難所での生活などを支える資金としては、どうしても「税金」が必要になってきます。救急車や消防隊の出動、自衛隊員による救出などの場面は、税金

があつてこそです。私たちが安全で豊かな社会生活を送るためには、やはり税金への理解、税の啓発活動はなくてはならないものだと思います。

女性部会の事業は、年間を通して、夏休み親子映画会、税に関する絵はがきコンクール、グループ別税務研修会、小学校での租税教室、署長講話、研修旅行など、毎年、同じようなことをしているようでも、どれをとっても重要なものばかりです。日頃ご理解、ご協力いただいている部会員の皆様に厚くお礼申し上げます。先輩女性部会員様たちが築いてくださった、この礎を基本とし、更なる発展のために、「令和」に思いを込め、新たな決意で、部会員の皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、伊勢税務署ご当局、法人会親会の皆様、青年部会の皆様、本年も女性部会の事業に対し、ご指導、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

合同スポーツ交流会

令和元年9月20日金 於.. いせシティプラザ

九月二十日、伊勢税務署・青年部会・女性部会の合同スポーツ交流会が、いせシティプラザ多目的ホールで行われ六十二名の参加をいただきました。

今年も昨年に引き続き、人気の「風船ダーツ」を行いました。男女・年齢・体力に関係なく、皆で楽しめる競技です。今年は女性部会担当の年なので、会場設営等の準備作

業を行いました。「バーン」と風船の割れる音、「キャー」という歓声、「オオ！」という賞賛や拍手、ダーツが外れた時のため息等々、賑やかな交流会となりました。会場全体が盛り上がり、皆さんと親睦・交流を深めることができました。

風船が割れた時のスカッとした爽快感を、是非味わっていただきたいと思います。

多数のご参加ありがとうございました。



時の人



伊勢税務署
法人課税第一部門統括官
中 田 悟 氏

★出身・生年月日

出身は、今年の大河ドラマ「麒麟がくる」の舞台、岐阜市です。夏は長良川で泳いだり、鵜飼船を眺めたり、冬は金華山の岐阜城から初日の出を見たりと、自然豊かですがちよっぴり歴史も感じる地域で生まれ育ちました。

生年月日は、昭和四十三年六月四日です。

★家族構成

妻、長女（大学生）、次女（中学生）の四大家族です。

★伊勢の感想

神宮の正宮・別宮をはじめとする伝統と文化、穏やかな海、優しい山々など、素晴らしい環境だと感じました。また、こちらに来てからたくさんの方と出会い、お話をさせていただき、「おかげさま」の心が根付く、人情味あふれる土地柄だと感じています。

★前の仕事

名古屋中税務署特別調査情報官として、愛知・三重・岐阜三県下に広域展開する法人の調査を行っていました。あちこち遠方へ出かけてホテルで過ごすことも多い仕事でした。

★趣味

ウォーキングと寺社をはじめとする歴史遺産を巡ることが好きです。伊勢署管内も、興味深いところが多いので、いろいろ歩いて廻り、楽しんでいきます。

★座右の銘

「ホットハート、クールヘッド」です。反対にならないように座右の銘としています。

★心掛けていること

学生の時、体育会で少林寺拳法に取り組む時は「守・破・離」を心掛けています。難しいのは、日進月歩以上の速度で進歩する世の中に合わせて「守・破」を試みる時で、「型があるから型破り、型が無ければ形無し」との言葉もあります。

また、少林寺拳法には「拳禅一如」「力愛不二」「剛柔一体」といった、相反するものを同時に大切にすることがあります。何事も、バランス良く、しかし形無しとはならないよう、取り組んでいきたいと思っています。

★印象深い仕事・勤務地

前任を含む広域担当部署は、何度か勤務したことがあり、様々な所へ行き、様々な方に出会い、良い経験をたくさん積みことができました。昼間の仕事は厳しいですが、夜には支援先の署の人達と地元料理で一杯やるなど、楽しい思い出も有ります。また、国税局徴収部特別国税徴収官部門での超高額滞納処分や、審理担当官としての審査請求や会計検査院の検査対応事務なども、これまでの法人調査とは違った印象深い仕事です。

★伊勢法人会女性部会に対するメッセージ

いつも前向きかつパワフルに事業活動されており、私自身いつもたくさんさんのパワーを頂いております。夏休み親子映画会での税金クイズも、楽しく税金博士をさせていただきました。き、とても良い思い出となりました。

★今後の女性部会に一言

伊勢に来て以来、法人会の様々な事業活動を拝見し、参加させていただきました。中でも女性部会の皆様の事業は、持ち前の行動力と団結力で本当にパワフルであり、深く印象に残っています。今後皆様のパワーで法人会全体を盛り上げていただきたいです。私も皆様とともに頑張ります。よろしくお願いいたします。

＊ ＊ ＊

柔和な印象の田中統括官ですが、意外な事に少林寺拳法有段者でいらしたり、学生時代にはバックパッカーもされたりと、熱のある信念をお持ちの方とお見受け致しました。楽しいお話ありがとうございました。

納税表彰式

令和元年11月13日
於・伊勢シティホテル

おめでとうございます

★伊勢税務署長表彰

アルファ電子株式会社
岡崎陽子



★伊勢税務推進協議会長表彰

株式会社三重軸装
杉山翠



(敬称略)



はつらつ新入部会会員紹介

(令和元年 月 日) 月 日

中井 由紀

(有)伊勢志摩メンテナンス
(厚生支部)

(敬称略)

親子映画会



夏休みの恒例行事として定着しつつある夏休み親子映画会を、今年も伊勢と志摩の二会場で開催いたしました。八月二十一日の志摩市阿児アリーナ、八月二十五日の伊勢市生涯学習センター(いせトピア)、いずれの会場も大勢の子供たちと保護者の方々にご来場いただき、クイズ形式の租税教育を行った後映画「ボス・ベイビー」を上映しました。

租税教育の時間は「税金クイズ」と題して小学生を対象に、税金博士に扮した伊勢税務署・田中統括官から税に関するクイズを出していただきました。志摩会場では元気な子供たちが多く、我先にとステージに上がってクイズに参加する姿勢が印象的でした。また、伊勢会場では高学年の子供たちを中心にしっかりと税金博士のお話を聞く姿勢が大変頼もしく感じられました。最も身近な税の一つである消費税の税率が、十月から変わる事もあり軽減税率に



第12回 夏休み



関する問題では、保護者の皆さんも真剣に聞き入って下さり、子供も大人も一体となって楽しく学べる租税教育の時間を持つことができました。

今年の上映映画「ボス・ベイビー」は赤ちゃんの姿をしたビジネスマンと少年の交流を明るく愉快に描いた映画です。上映中は会場のいたるところで笑い声が響き、上映後子供たちからも「面白かった!」という声が多く聞かれました。未来を担う子供たちに税の大切さを知ってもらおうと、夏休みの素敵な思い出のページを提供したいという気持ちで、何か月も前から準備をしてきた夏休み親子映画会でした。当日の子供たちの楽しそうな笑顔に私たちも大きな喜びと達成感を与えていただきました。

ご参加ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

税金展

税に関する絵はがきコンクール

令和元年11月3日

於：いせシティプラザ

十一月三日、いせシティプラザに於いて税金展が開催され、税に関する作品の展示と税連協主催の「税に関する作品合同表彰式」が行われました。今年も租税教育活動の一環として、各学校に訪問し絵はがきをお願いいたしました。

七九九点、十八校の応募があり、その中から最優秀賞原希心さん（有緞小六年）をはじめ各入賞者や学校賞を決定し表彰しました。表彰式では、一人一人壇上に上がってもらい表彰し、最後に全員で記念撮影。保護者の方々も我が子の晴れ姿を写真に収めていました。また、税金展にきてい

ただいた子供達に税金クイズを実施し、楽しく税の勉強をしました。全応募作品は、十一月から十二月中旬まで鳥羽一番街とぎゅうとらハイジードに展示させていただきますました。



グループ別 税務研修会に向けて

令和元年11月15日

於：伊勢商工会議所

十一月十五日、役員会のあと約一時間、税務署の佐藤上席のもと、十二月九日のグループ別税務研修会に向け、勉強会を行いました。

各グループの座長、発表者、書記の方々を含め、計十八名で当日の研修内容にあわせて事前に勉強をしました。

佐藤上席は資料をたくさん用意して下さり、一つ一つ問題点をいねいに説明して下さいました。



租税教室講師養成研修

令和元年9月13日(金)

於：伊勢税務署大会議室

九月十三日(金)、伊勢税務署大会議室において、租税教室講師養成研修が行われました。

女性部会からは、一般会員を含め二十名が参加し、研修を受けたあと委嘱状が交付されました。

一月、二月に開催される小学校での租税教室に向けて熱心に勉強しました。



2019年度 訪問する小学校一覧

開催日	曜日	学校名
R2.1.14	火	伊勢市立四郷小学校
R2.1.15	水	鳥羽市立鏡浦小学校
R2.1.16	木	志摩市立東海小学校
R2.1.20	月	伊勢市立神社小学校
R2.1.29	水	伊勢市立浜郷小学校
R2.2.20	木	玉城町立外城田小学校



第36回 法人会全国大会 三重大会

令和元年10月3日(木)

会場 講演会・記念式典

懇親会

サオリーナ
メッセウイング・みえ

第三十六回法人会全国大会・三重大会が、津市産業・スポーツセンターサオリーナ及びメッセウイング・みえに於いて十月三日(木)に開催されました。参加人数は一八〇〇名でした。

女性部会も十月一日～三日まで、袋詰め作業、会場設営等の事前準備と当日の誘導等のボランティアで協力させていただきました。

少しでもかわった三重大会が無事終了し、うれしく思いました。

太神宮 あちこち

第10回 度会国御神社・大津神社(下)

神宮禰宜 石垣 仁久

四

確かに守良神主が言うように、内宮摂末社の祭神と荒木田氏の祖先神は交錯しませんが、同氏の祖先祭である三月の山宮祭と、四月の氏神祭の祭場として、特定の神社と関係があったようです。

さて、度会氏が主張する度会国御神社の祭神名に疑義を抱いた守良神主は、国津御神は美称で、その実態は度会の大国魂神であろうと考察しました。それぞれの土地(国)には固有の魂があり、それを国魂と呼び、神として祀られる場合、大国魂神と称されることが多く見られます。

更に守良神主は、神社は地主神を祭神とする例が多くあると言ひ、その一例として宇治比売神を祭神とする国津御祖神社(内宮摂社)を挙げ、その父神が国生神(土地を生成した最初の神)で、一名を大国王命とも称されるので、外宮の

国御神社も大国王命であろうと考えたのです。「大国王」と称へ申せるは、此度会の地に功徳ます神なるべし」(大国魂と称賛するのは、この度会の地に功績があった神だからだろう)と言ひ、外宮には外に度会大国王姫神社もあることも併せて考えるべきだとします。

実際、外宮近辺には草奈伎神社や大間国生神社など、度会氏の出自に関する神社が点在しています。草奈伎神社は、剣に宿る霊力、即ち開拓器具の神格化、大間国生は広い土地を生成した自然の神格化、そこに度会氏の祖先神のイメージが重ねられているようです。

大国魂神の場合は、名称が抽象的なので、イメージではなく、実名を有する度会氏の祖先神が充てられたのではないかと筆者は考えます。

五

度会国御神社と大津神社へ向かう森の中の参道の両側を観察すると、参道に沿って微妙な段丘になっているのが判ります。これはかつて宮川支流がここを西から東へと流れていたなごりと思われます。鎌倉時代に度会行忠が著した『神名秘書』に、度会国御神社は、「沼木郷山田村に在り座す」とあるので、当時は外宮域内ではなく、山田村のどこかであったようです。

また、同時代の度会元長『内外宮諸社記』は、文明年間(一四六九〜八六)頃まで外宮と堀を隔てた所にあり専属の神主もいたが、鎮座地不明となったと記しています。

更に、御巫清直『二宮管社沿革考』は、国見社は前野村(現在の八日市場町付近)の氏神となり、社殿が無く大きな藤があつたので藤社と称し、そこに世義寺が出来て、国見社は仏堂となった。寛文大火(二七〇)の後、世義寺と共に国見社も他所に移り、やがて廃絶したとの伝聞を記しています。(但し、藤社は本来は国見社とは別の神社で、現在は八日

市場町の坂社に合祀されています)

このような説を総合すると、旧社地は現在地と存外近接していたのかもしれませんが。

六

度会国御神社の奥に鎮座しているのが末社の大津神社です。この神社は外宮の末社で、摂社の度会国御神社と比べると、社殿がひとまわり小さいのが判ります。大津神社については、史料が少なく、祭神名や旧社地など不明です。

一般に大津と言えは港を連想しますが、必ずしも海に面しているとは限らず、勢田川を遡上した竹ヶ鼻か阿竹ではないかという説もあります。

明治六年に大津神社を再興するために旧地の調査が行われましたが確定に至らず、現在地に再興されました。

特定の土地に神宮の摂末社が祀られていたことには、必ず理由があるはずで、創造力を逞しくすれば、大津神社は外宮の神饌などを水揚げする場所、水上交通、物流の特に重要な場所であったのではないかと筆者は考えます。

七

古代の度会地方は「百船の度会」と称されたごとく、宮川支流が複雑に入り組み、そのため水利に優れた土地でした。大津神社はその基点にあつたと思われます。鎮座地が不明となったのは、洪水による社地の消滅、河流の変化などが考えられます。

はじめに記したように、神社の歴史を知る上で、摂末社の存在が大きな鍵となることがあります。今回ご紹介した外宮域内の二社も、祭神や旧地などに不明な点も多くありますが、いつかそれが解明され、古代伊勢地方における国魂信仰や、水運の変遷などについて、明らかにすることも多いはずだと思います。

そのようなことを想いながら神宮の摂社や末社を、一社一社ゆつくりと探訪するのはとても楽しいことです。駆け足の巡拝では見過ごしてしまふような歴史が、まだまだ太神宮のあちこちに秘められているのです。